

王喜地区まちづくり集会（H25.9.16開催）

王喜地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月16日（月）14:00～15:30

◎場 所 王喜公民館

◎出席団体数 13団体

王喜自治連合会、王喜小学校PTA、王喜婦人会、王喜商工振興会、王喜長寿会、王喜スポーツコミュニティクラブ、王喜地区民生児童委員協議会、王喜地区社会福祉協議会、王喜消防分団、王喜子ども会、県漁協王喜女性部、JA下関王喜支所女性部、王喜地区保健推進委員会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三
王喜支所支所長：辻野恭司

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14:00～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14:30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15:30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

王喜地区まちづくり集会（H25.9.16 開催）

【開催の様子】

9月16日に開催した王喜地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から13名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、王喜地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

王喜地区まちづくり集会の中で、参加者どうしで話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

王喜地区まちづくり集会

9月16日

地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
老人福祉		敬老会に参加しやすい仕組みづくり	市福祉バスの運行
産業		地域で活性化を検討	商工への市の支援
地域産業の活性化		活性化に向け祭りの開催	
子育て		子供会の役割見直し	
自治会と子供会のつながり(存続に危惧)		子供会の統合又は連携	
スポーツ		地域での維持管理(一部は市で負担)	
スポーツができる公園 (子供育成場所が少ない)		木屋川近隣公園関係	既存公園の整備
		特定団体の利用独占を改善	
安全・安心			避難地の再検討(情報提供含む)
低地の津波対策(避難地等)		地域で避難場所の話し合い	緊急放送設備の整備
防火に使える水路が無い			

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

王喜自治連合会の会長をしております。よろしくお願ひします。司会進行を務めさせていただきますので、ひとつよろしくお願ひいたします。

それでは、地域の現状と将来を見据えた課題についてということですので、まずは地域の課題を自由に出していただき分野ごとに整理したいと思ひます。今日は、地域全体はもちろんでございますが、各種団体責任者の方に出して頂いておられますので、できれば細かく自分の団体のことが分かればそういうことを、ひとつ課題としていただければ良いのではないかと思ひます。

また、この課題の整理は後程行いますので、一応時間の関係もありますので15時としております。余り時間ありませんので、発言は簡潔にお願いします。それでは課題のほうひとつ皆さんのほうから挙手でお願ひいたします。

具体的には、環境教育、或いは高齢者福祉、子育て、安全安心というようなことでも結構でございますが。

【市民】

民生委員をしています。お世話になります。

課題と申しますか、老人福祉について全般的に皆さんでまとめて参りたいなと思っております。

【市民】

王喜商工振興会から参加しました。王喜商工振興会の会長をしておりますが、私の努力不足というようなことで、今まで色々問題等も出ておりました。まず、王喜商工振興会の会員といたしまして、25社あります。今の説明の中にありましたように、市の方として行政の方として、これにいくらかの、当然人は我々が人を作るのですが、他の支援については、行政としてはどうなのか。我々は商工会議所というところはありますが。市の方としては商工会の方に、いくらかのお金が支援できるかなというふうなことを1つの問題に挙げておきます。

もし支援があれば、これはまた活動もできるのではないかということ。

今は、会員のお金で色々やっているのですが、議題としてはこれを出したいと思ひます。

【司会】

それも1つの議題として結構でございますが、住民自治によるまちづくりと申す案でございますので、今日は市への要望というのは極力控えていただひて。この中で、住民ができることをやりましょうということが本来の姿だと先ほどお聞きたしたので、できればもちろん支援していただくのも言ひいただひても結構ですけど、我々はここまでするんだと。そして、このところは出来ないということ言ひ頂ひく。後ほど2番目で出来ることでございますので。

他にござひませんか。

【市民】

王喜小学校PTA会長をしています。以前も申し上げましたとおり、子どもの数がどんどん減ってきておりました、各地域に大きな地域と小さな地域が存在しています。その中で、今、一番に感じているのが子どもの数と自治会や子ども会という1つの固まり、1つのつながり、これが非常に大事で、私も小さい頃からの思いでやっています。

こういったところで本当に、数が少なくなったところについての合併というか、連合みたいな組み方を今後やっていくべきなのかなと、以前も申し上げましたけど。そういうことも議題に出させていたいただきたいなと思います。

【司会】

はい。確かにその通りでございます。私も同感でございます。

では、次にどなたか。

【市民】

再度すみません。後、この王喜地区には自然も非常にあって、王喜小学校、中学校グラウンド等整備されている所はあるのですが、小月などを見ると大きな公園があったりもします。

当然、先ほどの方も言われましたとおり、スポーツも非常に盛んな地域でありますけども、1つ足りないなっていうのはグラウンドで、ニチハの近くにはグラウンドがあるのですが、やっぱり少し距離があるということで、もし可能であれば行政の方も踏まえまして、自治会やこちらの地域の方もそういったグラウンドとか、子どもが遊べるような公園づくりをして頂きたい。今後また、必要になってくる土地などの問題もあろうとは思いますが、そういうのがあれば、もっと子どもが入ってきて地域としても活性化につながって行くのではないかと。その公園を1つの出発点にして、もっと地域が盛んになってそこで色々な催しもでき、当然一般の木屋川もありますけれども、それ以外のところでもっとコミュニティができるようなところが良いかな、というところを議題にさせてください。

【司会】

はい。分かりました。一応子どもの育成場が少ないということで、例としては公園づくりなどがどうだろうかということ。これは行政等の方にお問い合わせすることが多いかなと思います。

【市民】

今、小学校の方から意見が出ましたが、私は木屋川の方に住んでおまして、今日、木屋川近隣公園に行ってきました。

あそこは野球場と公園がありますが、これは当然市の土地であり、市が管理されていると思います。立派なグラウンド公園でしたが、5年くらい前に、市が公園に木をチップにしたものを広げました。そのため、現在、子ども達がそこに行っても、スポーツができないような状態です。だから今、言われるようにあそこを立派にして公園にしたら恐らくは色んな子ども達、またはここの地域でもソフトボールもできるのではないかと思います。

現状を見ていただいて、ひとつ市行政の方が、どういうことになるか分かりませんが、我々としては、木屋川近隣公園をきれいにしてもらおうということが、第一の希望になります。

【市民】

これに私が補足いたします。木屋川近隣公園は野球場が2面とれます。

そのうち1面は、常に少年野球団が使って十分機能していますけど、もう1面は、せつかくの近隣公園にチップ・木のくずが敷き詰められています。そのため、堆肥置き場なのかと勘違いするほどであり、何のために置いてあるのかなと感じます。この位の厚さで広いところ一面に敷いてありまして、草が生えるだけです。

そこは公園ですが、敷き詰めたチップを肥料にすることが目的なのか、そこで腐らせて何かに使うのか良く分からないんですよ。

公園は、地域の人が行って色んなレクリエーションしたり、休憩したり、遊んだりするべきところですが、市が木のチップ置き場所に利用し、そして草が生えて何にも使い物にならないようなことをして、誰のための公園なのかなってというのが僕の1つの感覚。

今、商工振興会長が言われたのと一緒だと思います。だからチップをのければ、きれいなグラウンドになりますが、現在はただ歩くのも歩けないような状況です。

だからこれは1つの地域として、今日の場合でいかがかとは思いますが、1つ公園というのが出ましたものですから、そうなったと思います。あの公園で子どもや大人がグラウンドゴルフをすることも出来ないような状況でありますので、地域の課題として、この中に1つ入れて欲しいと思います。

そういうところは地域が困った問題といいますか、せつかくの公園が何もならないということでございます。

【司会】

次、お願いします。そちらの方から。

【市民】

こちらから行きますと畑地区、分かるでしょう。畑地区からずっとニチハがあるでしょう。ニチハの裏を通るんだけど。ニチハをグルッと1回転したら、そこがちょうど木屋川近隣公園が見えます。

場所的には立派な所なんです、

ニチハのところからニチハの普段グルッと回る広い道があります。クルッと1回転したらまた元の道に出ますが、そしたらそこにきれいなのがありますし、トイレもあります。

だから、もったいないと思います。

【市民】

先ほど長く言いましたが、時間がちょっと足りなかったもので、これは地域住民も考えなくちゃいけません、今、小学校の育成、コミュニティ・スクールを開催していただきました。小中学校があるのですが、色々この前東北の方で地震があったときに、避難っていいですか、この地区は公民館と王喜小学校が避難地になっているのです。ところが、この前、王喜小学校の校長から相談を受けたときに、あそこは海拔7メートルだといっていました。そして昭和17年には、今の中屋商店前の県道がありますね。県道まで上がってきたくらい津波が来て、小月の町も大型の船が座礁して上がってきたりした経緯があります。昭和17年ですから、もう昔と言えば昔ですが、そんなにまだ人類が存在する間には

考えておかなければいけないので、この公民館と王喜小学校が避難地になっています。特に芝地区なんかは、何かあったら公民館ここに駆け込む訳でございます。そういったことで、校長が来られて小学校が避難地になるのは、どうしても心配でならないっていうので、今、王喜地区の地域住民のシンボルである城山がありますが、これは海拔114メートルですから、いざとなったらそこに生徒を全部集めるっていうので、今その下に私の土地があって、このまま上がってくるのに牛がおったりしたらいかんというので、毎日管理しているわけです。やはりそこに160人の子どもが、一斉に上がったときには非常に困るなと思いつつながら、そういうふうになっています。全く建物も何にもないですが、とりあえず上げていくという問題です。

ただ小学校に避難させようとか、この前も小学校のスポーツの関係でも教育委員会に言ったら、何で連合会が小学校のことに口出すのかと言われた。市と良く連携をなさいとわれ、一番元手になっている連合会からまとめた要望があるので、連合会から何でそんなものを。そういう行政の体制でもあるようでございますので、心配です。

一生、津波は来ないよって、下関には津波は来ないって、市長の発言にありましたけれども、これはどういう状況か、地震があればここは菊川断層があるところですから、津波に限らずそういう避難地になるところでございます。ただ避難地を芝地区ばかりに作るわけじゃないので、今、大方は民間のところ自分たちの家を利用して、そういうものを活用したりしてやっています、活動を。だからそういう状況ですので、何かそういう王喜住民が全員お金を出して、それが理想ですけども、なかなかそこまでいきません。何かそういう避難場所という考え方も1つ頭の中に入れ、行政の方でこういうものはいよいよという形がありましたら、支援なり情報提供なりしていただいて、今そういう実情です。普段見たときは安心だなと思っているけど、そこまで海水が高潮で、そこまで来ているくらいですから、これは地震とあのようなことが一緒になったらそういうのが起きるし、私たちもあと10年したらおらんかも分かりませんが、将来、子どもたちのためには、そういうのも確立しておく時期かなと思います。それは付け加えておきます。

【司会】

分かりました。避難場所のこと一応検討、再検討した方がいいのかなということではないかと思えます。確かにここは、海拔4メートル、正確には6メートルですか、支所長。

【市】

はい、そうです。約6メートルです

【司会】

6メートルだから高潮だと大丈夫かなとも思いますけど、多分、白崎の浜が切れたら間違いなくつぶれるんじゃないかと思えます。今言われたことは、後の議題にしましょう。もう少し時間がありますが、消防関係から何かございせんか。

【市民】

消防団です。先般京都で祭りの事故がありました。ちょっと地域の問題と関係無いかもかもしれませんが、ここもまったく同じような状況で、河川敷、海岸で見ると、防火水槽とか消火栓とかが1つもあります。だから水路がないっていうのが少しちょっと問題かなと

も思っています。ただ木屋川が満水、満潮になれば当然、水はありますけど。反対側のサンデンの裏は水が無い状況です。ちょっとその辺りも検討されればと思います。よろしくをお願いします。

【司会】

夏祭りに限らない事でしょうが、イベント時のいわゆる安全確保といった方がいいですね。

他に何か。お時間ももうあれですが、どなたか1人出してもらって、課題については終わりとしたいのですが。

【市民】

市にお礼を言っておきたいのですが、前回の小学校の統廃合については、王喜として色々なポイント、政策でありまして、色々と言いましたけど、おかげで小学校は今頑張っております。今の校長があつという間に成功させたのですが、県には非常に素晴らしい教員がおられます。王喜小学校の児童は、今、全国的に学力がトップレベルらしい。そういうことを誉れに言っておきますが、学校が存在した形でやって、それがうまく行ったのではないかと思いますので、報告しておきます。ありがとうございます。

【司会】

他に無いようでしたら、次の課題解決の方に行きたいと思いますがよろしいですか。

ちょうど3時になりました。課題解決ということで今、そのスクリーンに出ております。ちょっと見にくいかもしれませんが、まず、最初に民生委員の方からお話がありました。老人福祉についてということで、いろいろご意見いただきたいと思います。15時25分までとしておりますので、簡潔な発表をお願いしたいと思います。これは、解決できる課題があればいいですが。こうすれば良いというようなこと、あるいは活性化はこうだというようなことがあればお願いしたい。

【司会】

老人福祉ですから、例えば老人に何かあったら、例えば先ほどの災害時にはどうするのか、というようなことでもいいですが。

【市民】

昨日ちょっと思いましたのですが、敬老会は、地区内に14地区あると思います。昨日の敬老会は、みんなお年寄りが多いわけです。当然、そういうことで芝地区は参加者を募ってそれで来られた訳です。芝地区は自治会長さんがタクシーを要請して、それで連れて来られた。芝地区は素晴らしいなということで、そうなりますと今度は王喜全体で考えて社会福祉協議会が、今度はその辺の人員を募ったら、畑なら畑地区、横の地区、遠いところは、タクシーを要請して、それで送り迎えをするということを取り組んで頂いたらどうか。そうすると参加者も多い、来る人も喜んで来られる、ということじゃなかろうかと思いい、昨日私はそれを感じたわけです。

【司会】

はい。ありがとうございました。他には福祉について。老人福祉ということで。

【市民】

すみません。今のタクシーの件ですが、長寿会の方でお願いしたいなっていうんですが、自治会と婦人会が主催で、私たち老人は呼ばれる方の立場ですから、ご招待にあずかってタクシーを雇ってくれとか、やっぱり言えないと、皆で老人会の者で話をしている。自治会の方からそういうお話が出ると、本当に幸せます

それから老人会の行事なんですけど、早めに行事があるのは分かっていますので、市の方の福祉バスの予約を取って、行事をやるようにして、それで送り迎えをしていただくように老人会の方はお願いしているところなんです。

【司会】

そうですね。よく分かりました。それはまた検討課題になると思います。

一番問題がたくさん出そうなものだなと思っておりませんが、他には老人福祉についてありませんか。一応足の確保ということで整理したいと思います。

次に、2番目であります地域産業の活性化です。これももちろん商工会の発展への支援というのもありましたが、活性化するにはどうしたらいいのかというようなことでご意見いただきたいと思います。せっかく25の会社があるので、現状は今、どういう活動がありますか。

【市民】

本当、私の努力が足りないで今の活動としたら、当然夏祭りとかそれから個人的ですけども小学校に注連縄作りとか、こういう小さなことをやっている訳です。

それで今私がまた努力して今回の総会に来ました。その中で今度は、皆に集まっていたいて、集まる機会を狭めて名案を出していただいて、例えば王喜地域のためにやろうかなということ、集まった人には出して提案してある。だからそれに対して我々は会費でやっておりますので、もし行政の方からお金がもし出れば支援が出ればということでございます。

【司会】

はい。分かりました。これは商工会というのは、王喜商工振興会というのがある、小月にもあると思うが。いわゆる東部5地区での会とか、集まりというのがあるのですか。

【市民】

これは、東部5地区で年1回～2回集まります。この中で、やっぱり話し合いをするけれども、なかなかみんな地域、地域で違いますから、これを1つにしようという話が出ておりますが、なかなかまとまらないということで、今のところ5地区ということになっております。

【司会】

下関商工会議所との関係は。

【市民】

下関商工会議所がありますが、これは下関の各地域の47の会長さんが集まっているので、やり方も地域で違います。

【司会】

ということは本部があって、ここはその支部的なものじゃないんですね。

はい。分かりました。

それでは、次の自治会と子ども会のつながりということをおっしゃると思いますが、

自治会と子ども会のつながりで、つながりというのは有るようで無いといえますか、皆さんから意見を私が聞いているので、どうぞ教えてください。

【市民】

私は自治会と関係して、こういう場でも他にも会長さんがおられますけど、この前から色んなそういう状態から夏祭りやスポーツ大会をやらせても、自治会主催になっているものですから、当然この皆さん全員そのスタッフですけれども、運営していくのにプランマネージャーが12人もいます。そして子ども会の関係者もおられますけれど、やはり子ども会という組織は、昔は王喜地区に住む小学校の子どもは全て子ども会に入っていました。

ところが、最近ここは形式的な問題でもありますが、子ども会は任意の団体だと言われます。任意の団体ならそれでも結構ですが、任意の団体ならもう少し子どものために活動したらいいけど、全部自治会の活動に付属したような形でしかされていない。私が小さい頃は、子どもたち主体でやっていたけど。現在の状況も理解できますが。

お母さん方は非正規の職員の方が圧倒的に多く、土日仕事で出づらきやいけない。一方で、自治会の活動は全部土日なので、土日にお母さん方に出てくださいといっても、それは役員として出て来られない。そして子どもを守りたいけれども、そういう中に出て来られないという状況が慢性化しております。

ほとんどのお母さんが家にずっとおられた、昔のように家庭の主婦でおられる奥さんは、ほとんど100パーセントに近くおらず、どこかで働いている。それは非正規職員であるならば、土日主体に出づらき方も多いのです。

そういうことからしますと、非常にその辺の状況を自治会主体だから自治会に任せようというけれど、子ども会主体ですと一方ではそういう風になっているんです。この辺の状況をうまく埋めていかなきゃいけないと思います。

ただ今、こういうところは、王喜全体で集まりますから、子ども会の開催では、何で私たちが子ども会の会長なのに、子ども会の役員なのに、何でこの夏祭りの会に出ないかやいけないかという発言もあります。何度もそういう人たち、歴代の子ども会の会員さんに違うというのを説得してきたのです。子ども会は、大事な王喜の地域の活性化のためにあなたが代表で、大きな責任があるし、PTA会長、老人会の会長もそうだ。王喜を活性化するならと言って、初めて分かっていただける。

最初は、鉛筆を転がして私が子ども会の会長になったのに、何で私が夏祭りのスタッフに出ないかやいけないのかと、こういう状況でありますから、そういうものを述べていくとご理解いただけたらと思います。

今、社協もそういう状況になって非常に協力的に相談していただけることから、その状況よく分かります。これを聞かないと内容でなんかってところありますから、PTAの会長もその辺、自分でとっておられて、非常に今、王喜地区はどんどん良くなっていきます。やはりお母さんについては、子どもを育てるのは当然ですが、ハンデがあるのだ

ろうと思います。これも連合会とよく連携を取って、調整していただかなくちゃいけない点かなと思います。以上です。

【市民】

今、私がこれを挙げたのは、スポーツコミュニティクラブが言われたとおりのことあるのですが、私が言ったのはただ単に自治会があって、子ども会の子どもの数も少なくなつて1～3人、もう本当に4、5人くらいでやっているレベルの地区があります。中には草場地区とか、すごく大きな範囲でやられている子ども会があって、そこはもう潤沢にいろんなことができます。ただし、今私がこれで言ったのは、スポーツコミュニティクラブが言われたことじゃなくて、私がここで挙げたのは、要は今後そういった少数派、少数の自治会の地域にいる子どもたちが、子ども会に入る機会もそうなのですが、連合を組むことによって、例えば工領と石ヶ坪が組むだとか、そういったところの今まで1自治会に1子ども会じゃなくて、それを3つの自治会の中に1つの子ども会とか、そういうことを今後はやっていけば、もっと子ども会というものが活性化され、やることもどんどん増えてくると思います。すごくそれがお母さんたち、当然、今スポーツコミュニティクラブはお母さんと言われましたが、私はお父さんなので、お父さんの立場からもやっぱりそういうことを感じています。そうすればもっと女性の方だけじゃなくて、男性の方も含めてお爺ちゃん、お婆ちゃんも含めて子ども会とかそういった団体としての存続に今後つながってくるだろうと思います。

他の地域に行くと、西側の彦島とか、町の中の子ども会を見れば、どんどん子ども会が無くなっています。子どもはいるけど子ども会が無くなっているという現状が増えていきます。王喜地区は、やっぱり私も残したいっていうのが絶対あるので、そういったところを今後は考えていって、自治会長の方々、連合会長と皆さん相談して頂いて、そういった進め方を取り組んで頂ければ、ここから発信していけば、今後そういうのが良くなってくるのかなというふうに感じています。失礼しました。

【司会】

今の話ですが、自治会といたしましても各自治会長にそれは伝達してあります。

一応、子ども会に入っていない親御さんには、自治会長が直接勧誘に当たりなさいということと、そして全然、子どもさんが少なくて会ができないようなところは、他地区や隣の地区の人たちと一緒にいるように応用をしていきたいと思います。そういうことで、子ども会と自治会のつながりを密にして、何でも相談していただいて、スムーズに行けるようにしたらいいと思っております。

それでは次に行きます。スポーツができる公園、子ども育成場所が少ないということですが、これについて何か。

【市民】

近隣公園について、先ほど私が言いましたように、私はずっと前からこの近隣公園野球場をずっと見てきております。完成した当時は野球場もよし、こっちの公園もよし、あそこでグループがグラウンドゴルフや野球もやっておりました。野球場については今、ジュ

ニアの公式のチームがあります。これが独占しているわけです。これを行政は覚えておいてください。ここは地域誰もが使える公園になっているのですが、今は野球場を我々が使えない状態になっているんです。

それに、もう一方の公園は、自治連合会長が言われたように、市がチップを持ってきて邪魔になったけど、それを今度は業者が来て、そのチップを公園に広げた訳です。そうなりますとグラウンドゴルフもできないし、子ども達も走ることもできない、ゲートボールもできない。こういう状態を我々ずっと見てきている訳です。それは公園緑地課も、恐らく見ておられると思います。

そういうことで、これを立派にしたら、今度、王喜地域のスポーツ大会でもあれば、あのグラウンドが両方使える訳です。あそこは車を止めるのも安全。そういうことで、私から言わせれば、これは行政のやり方が間違っていると思います。これはもう王喜の連合会から、または王喜の支所を通して要望していただきたい。誰もが喜んでできるような場所にしていきたいということです。

【司会】

はい。

【市民】

商工振興会長も言われましたが、今回それもありました。実は王喜小学校の耐震化工事のため、今年は市のスポーツ大会ができないんです。従って、開会式も全部、河川公園でやります。そしてソフトボールの会場を近隣公園にお願いしたら、あれは公的に下関市民にこうやって頼んだから特定の状況下であっても順番で駄目だと言うから、県と公園緑地課等に僕は連絡をとって、実は王喜はこういう状況で、あそこの管理をしているのは王喜なんです。だから1年に1回こういうときくらいはと言ってお願いしたら、それは関係なく王喜が一番にそういうときは抽選にしないようにしましょう。もう決めますと、王喜に。そういうふうに言って下さいました。

これもそれまでの状況は、普段はやはりスポーツ少年団を育成する意味で横を使われるのは結構だけれども、もしそれが空けないところがあったら王喜はそれができないから、僕がそこを空けないところをお願いに行くこともありました。これはそういう状況にしたら、市は決して分らんわけじゃないと私は思っている。そういう配慮は、していただけたと思います。

問題は王喜の総合型地域スポーツクラブで、山口県下49のクラブで準備をしているところがありますが、総合型になりうる条件というのは、やはり施設が無いと出来ないんです。

他のほとんどのクラブは、平成の大合併で合併前の市町村がサイトや、グラウンド、道具を持っていて、指定管理という形をするため、総合型であるところが多いです。従って、この後いきますが王喜のように3,500人が全部持っている、小学校と中学校の体育館グラウンドというのでは絶対、総合型は駄目です。何なら良いのかというと、河川公園なんです。河川公園の管理を自治連合会が受けて、年に3回だったのをヒバリ会ってという団体と、我々スポーツの関係が全部あれを常に1回は率先してグラウンドゴルフとか、クロ

スカントリーとか、テニスコート全部管理しているのです。年3回草を刈ったのでは、ボールも転げなくて、何もできませんが、そういう状況でここに展開しているときには、燃料だけでもいいからちょっと調整してもらおうと、いちいち個人から燃料代を取るのはいんです。観光を刺激する意味で。

というところでやってきたところ、県の河川部長の推薦表彰を今回受けたのです。管理が素晴らしいと。これは花火大会のとき集まることがありますけども、今26団体が下関で花火やっていますが、関門の花火は別ですが、それ以外のところは自治会における花火については、王喜が一番パツとしているという報告を受けています。そのくらいに河川公園を一度は見ていただきたいと思いますが、芝生を管理して、こういう施設も全部管理しています。そういう状況がないと総合型は駄目だなと思いますが、あるところにはあります。例えば、東亜大学とか菊川町とか豊浦町とか、そういうところの施設があるところになっています。うちはそれより前に推進していこうとしているんですけど、やはり施設がそういう整備できているところでないと思えます。それだけをこんな中に出してしていくというか、その課題として挙げておられるので、それをまた検討させていただきますように。

【司会】

ありがとうございました。次の避難場所、低地の津波対策等についてご意見お願いいたします。

【市民】

津波の避難場所の件ですが、先日、消防団の方で会議がありまして、津波到達時刻というのが、今あるじゃないですか。

その時刻の10分前には、消防団員が高台に全員待機しなさいと。王喜では城山です。

そういったことも市の方から我々消防団に言われているので、避難場所としては当然、先ほど言われたように城山になると思うのですが、要はそこに到達するまでの時間まで、町の中で今放送があるじゃないですか。あれが聞こえにくい地区とか結構あると思うので、そういった整備をしていただいて、避難場所の確保も当然ですけど、要は防災対策こちらの方に少し力を入れていただければというふうには感じています。

【司会】

それで消防にお願いでございますが、そういうせっかく良い会議をされましたら、そういう中身について連合会の方にお知らせ頂くなり、あるいはそういう会議ももちろん持たなきゃいけないといつも思っていますので、そういうのがありましたら、ご教示いただきたい。ということでよろしいでしょうか。

他に避難対策について。

【市民】

避難場所について、我々の畑地区ですが、これが何人か集まってこれを改善した訳ではないんですけども、今申し上げましたが、あそこに良い公園があります。あそこも高台になります。あの場所まで津波が来るとすると、大変な高さの津波じゃないかと思えます。

あそこだったら改善する必要もないし、ニチハの下のあの公園にみんな集まれます。

これ場所としても我々が考えたのには、畑地区が近いところで、それは今から自治会がそういう色々な対策を立てる。そういうことで市は、畑地区は、あそこのニチハの下の公園に行きましょうというような、1つの場所が決められるのではないかと思います、場所的に。そういうことを申しておきたいです。

【司会】

避難場所としては、工業団地があるところということ。それも1つの案だと思いますので、検討の中に入れてたいと思います。

最後の課題、イベント時の安全対策になるのですか。消火栓が少ない件ですか。

【市民】

防火水槽が無いということと、水路がないということ。

木屋川の河川公園と言いながらも、水路がないということ。満潮時は良いが干潮時は水が取れないということ。

【司会】

そういった時の安全対策をこれからどうするかということ。

私が今、ふと思ったことですが、あの中に農業用水が通っています。

あれをその当時はまだ夏ですから、木屋川からどんどん水が来ていると思うので、こちらの藤田会館側に回すという方法がある。水路があるから、それを確実に出してもらうとかいうこともひとつある。

【市民】

今日、ちょっと行って見たんですが、もうほとんど水は無いです。

【市民】

今は無いです。多分もう止まっている頃です。

【司会】

あの頃ならちょうど、まだどんどん来ていると思いますので。それも1つ議題に載せて検討したいと思います。

大体、以上で課題についてのご意見は全部出て終わりました。まだまだご意見もあるかと思いますが、予定の時刻が近づいてまいりましたので、最後に本日の皆さまのご意見を整理したスライドをご覧くださいながら、集会の総括とさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【司会】

それでは総括いたします。

老人福祉につきましては、敬老会に参加しやすい仕組みづくり。行政側が解決するには、市の福祉バスの運行。こういうご意見が出ております。

それから産業につきましては、地域産業の活性化ということで、今回、個人で解決するっていうのは、ほとんどここに出ておりませんが、差し当たって地域で解決するものにつきましては、地域で活性化を検討しましょうということと、活性化に向け祭りの開催をちょっと秋やりますが、祭り等に色々と参加していただくことになっております。

商工への市の支援というのは、現状が会費等でやっているのです少々中身が苦しいという

ことだそうでありますので、これは1つの要望になってしまったかなと思います。これは少しずつ、そういうこともこういう実績をしたからこうだということ、実績を見せてやっていただければいいのではないかと考えております。

それから子育てのところ、自治会と子ども会のつながり、存続の危惧ということですが、今までが自治会と子ども会というのは、別個で全く何をしているか分からんというような状況で、バラバラでございました。今年からは、そういうことで子ども会と自治会がくっついてやらなきゃいけない、ということがたくさん出ました。スポーツ大会にしる、夏祭りにしる、そういう問題が出まして、しっかりやっていこうということになっておりますので、今日の地域での解決では、子ども会の役割の見直し、子ども会の統合または連携ということで落ち着いております。

それからスポーツにつきましては、スポーツができる公園、子ども育成場所が少ない。こういうことで地域での維持管理。一部は市で負担していただくということと特定団体の利用独占を改善していただきたい。これは地域の課題の中で近隣公園というのを入れないと、なんかよく分からんと思いますが、カッコしてこちらの方の「子どもの育成場所が少ない」の中に、近隣公園をはっきり入れた方が分かりやすいかなと考えております。特定団体の利用独占というのは、名指しではないんですけど、近隣公園のことでございますので、既存公園の整備。これも合わせて木屋川近隣公園のことでもあります。

それから安心・安全につきましては、低地の津波対策、避難地等の確保ということは、一応、城山とニチハのところの工業団地ということが出ております。

それと地域での避難場所の話し合い。もちろんこれは芝地区と畑地区では考え方が全く違うと思います。雨が降っても芝地区は、水で危険だと水没するかも分からんと言えば、畑地区の方になりますと、今度は土砂崩れでありますので、全く避難にしても違う避難の方法を考えないと、山崩れと川とになります。避難地の再検討、情報提供を含むということで、現状の避難地は公民館、小学校そして中学校となっていますが、中学校もほとんど海拔2メートルくらいしかないと思います。この間、中学校に聞きましたら一応、王垂乳大明神跡地とそれから木屋川工業団地とこういうことで考えていらっしゃるようでございます。

それから、防火に使える水路が無いということで、これ先ほど言いましたように、そういうイベント時には、せっかく流れる水路を上手に使っていけば、うまくいくのではないかと。

こういうことで、大体今日のまちづくり集会のこれが全部だと思います。マイクをお返しいたします。

【市】

会長さん、司会進行ありがとうございました。ここで一言部長からコメントをいただきます。よろしく申し上げます。

【市】

どうもお疲れ様でございました。長時間にわたりご審議をいただきまして、ありがとうございます。

もともと王喜地区は、今皆さんのお話からも出たように、特に一体的な活動をよくしてらっしゃる。祭りにしろ、運動会だとかそういう活動が、地域全体として一体的に活動されている地域であろうというふうに思います。他地域に比べて特化したところがあるかと思えます。

今回のこのまちづくり集会は、住民自治によるまちづくりというか、住民による地域分権という言い方ですが、そういうもともと王喜地区の特性はありましようが、そうは言いながら先ほど出ました老人福祉、あるいは子育てと言いますか子ども会の問題とか、要するに少子高齢化というのはどんどん進んできている状況でございます。

例えば、老人福祉の中では行政が担う部分は、行政が担うのが当然でございます。地域として老人クラブ、あるいは敬老会という形で活動されている部分がございますが、そう言いながら全国的にありますように、男性は2週間もの間、一言も外に出て話したことがないというようなお年寄りもいらっしゃる。傾向としては、そういうものもあろうかと。そういう中で、今後こういう活動を自分たちが自主的にしていきたい。

子育てについても子ども会という組織が、例えば閉塞感があるとするならば、もっと新しいそういう子育て組織を作っていきたい、というようなそういうまちづくりを実はお考えいただけませんか、というご提案というかお願いします。

その中で我々はこう行動する、こういうものを作りたい、こういう目的でこういうことをやりたい。という中で、例えば我々はここはやるんだけど、行政がここをクリアしてくれないとそれはできない、というような中でのこれがご要望で、最終的にご要望という言い方は語弊があるのですが、行政はここを担ってくれ、我々はこういうところの運営をしていきます。というようなお話を、できれば頂戴したいというのが、今回の本当の目的でございます。

ですから、なまじ大変失礼ですが、既存の組織がしっかりしてらっしゃるだけに、多分今回のことが比較的要望というか、行政がこれをやったらっていうご意見が多かった。ただ何回も申し上げますが、そうは言いながら全てのことは住民等の中で遜色なく解決できていますかという、やっぱりそうじゃない部分もあるのではないかという気がいたします。既存の組織の中では、ですから、そういう部分に光を当てていただいて、我々はこういうことをしたい、ああいうことをしたいというところで、また行政との役割分担も含めてご議論いただければという気がいたします。

今日、いきなり我々が、住民自治によるまちづくりを短い時間の中で言ってしまいましたが、なかなか課題、あるいは課題解決というところで、課題そのものがそういうところの視点になかなか行きにくかった部分もあろうかと思えます。また、先ほどスケジュールにありました次回もでございます。そういう意味で、もう一度この議論を進化させるというか、深めていただいて、また協働のまちづくりと言いますか、一緒に解決できることがあればという気がしますので、よろしく願いいたします。

【市】

以上をもちまして、王喜地区のまちづくり集会の全日程を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。